

平成 28 年度交通量調査・アンケート調査の概要

1. 調査の目的

- 鎌倉地域を対象とした大規模且つ詳細な交通実態の把握は、交通量の経年変化が小さいこと等から、平成 8 年度以降実施していない。
- 鎌倉地域地区交通計画の策定に向け、以下のことを踏まえ、交通量調査とアンケート調査を実施する。
 - 首都圏中央連絡自動車道の開通等に伴い鎌倉地域の交通流動に変化が生じていることが想定され、最新の交通流動の把握が必要である
 - (仮称) 鎌倉ロードプライシング等の検討に際して、市民等の意向、導入効果や課題の把握が必要である
 - 鎌倉地域においてコインパーキング等が増加していることから駐車場の収容台数の把握が必要である
 - (仮称) 古都鎌倉 交通市民憲章(案)を広く市民に知ってもらうことやその考え方に対する意向を確認することが必要である

2. 調査の成果と必要な調査項目

調査の成果		調査項目																																																													
イ)最新の交通実態を把握し、交通施策の導入効果や課題を抽出する。特に（仮称）鎌倉ロードプライシングの導入効果や課題を予測するための交通シミュレーション（広域・地域内）の基礎データの収集	平成 8 年に作成した自動車交通量の内訳の更新	更新 <table><caption>表.鎌倉地域の休日昼間の自動車交通量(12h)の内訳</caption> (単位:トリップ) <table><thead><tr><th></th><th>地域内々交通</th><th>地域内外交通</th><th>通過交通</th><th>合計</th><th>(割合)</th></tr></thead><tbody><tr><td>来訪交通</td><td>3,901</td><td>31,068</td><td rowspan="3">—</td><td>34,969</td><td rowspan="3">(46.7%)</td></tr><tr><td> 自家用車</td><td>3,651</td><td>29,486</td></tr><tr><td> 営業車</td><td>250</td><td>1,582</td></tr><tr><td>域内交通</td><td>8,750</td><td>10,778</td><td rowspan="3">—</td><td>19,528</td><td rowspan="3">(26.1%)</td></tr><tr><td> 自家用車</td><td>7,726</td><td>8,617</td></tr><tr><td> 営業車</td><td>1,024</td><td>2,161</td></tr><tr><td>タクシー交通</td><td>2,216</td><td>1,022</td><td>—</td><td>3,238</td><td>(4.3%)</td></tr><tr><td>宅配車交通</td><td>479</td><td>27</td><td>—</td><td>506</td><td>(0.7%)</td></tr><tr><td>通過交通</td><td>—</td><td>—</td><td>16,631</td><td>16,631</td><td>(22.2%)</td></tr><tr><td>合計</td><td>15,346</td><td>42,895</td><td>16,631</td><td>74,872</td><td>(100%)</td></tr><tr><td>(割合)</td><td>(20.5%)</td><td>(57.3%)</td><td>(22.2%)</td><td>(100%)</td><td></td></tr></tbody></table> 資料：平成 8 年 11 月 3 日のナンバープレート調査、オーナーインタビュー調査に基づく推定値 </table>		地域内々交通	地域内外交通	通過交通	合計	(割合)	来訪交通	3,901	31,068	—	34,969	(46.7%)	自家用車	3,651	29,486	営業車	250	1,582	域内交通	8,750	10,778	—	19,528	(26.1%)	自家用車	7,726	8,617	営業車	1,024	2,161	タクシー交通	2,216	1,022	—	3,238	(4.3%)	宅配車交通	479	27	—	506	(0.7%)	通過交通	—	—	16,631	16,631	(22.2%)	合計	15,346	42,895	16,631	74,872	(100%)	(割合)	(20.5%)	(57.3%)	(22.2%)	(100%)		更新 ① 鎌倉地域に係わる自動車交通量の総量を把握するため、鎌倉地域の出入口における自動車交通量調査を実施 ② 実態調査日のカーナビデータ等を入手し、内外、通過交通を区分 ③ 内々交通、内外交通を把握するため、自動車オーナーインタビュー調査（各種アンケート）を実施
		地域内々交通	地域内外交通	通過交通	合計	(割合)																																																									
	来訪交通	3,901	31,068	—	34,969	(46.7%)																																																									
	自家用車	3,651	29,486																																																												
営業車	250	1,582																																																													
域内交通	8,750	10,778	—	19,528	(26.1%)																																																										
自家用車	7,726	8,617																																																													
営業車	1,024	2,161																																																													
タクシー交通	2,216	1,022	—	3,238	(4.3%)																																																										
宅配車交通	479	27	—	506	(0.7%)																																																										
通過交通	—	—	16,631	16,631	(22.2%)																																																										
合計	15,346	42,895	16,631	74,872	(100%)																																																										
(割合)	(20.5%)	(57.3%)	(22.2%)	(100%)																																																											
鎌倉地域内の交通ミクロシミュレーションモデルや OD 表の作成	・交通シミュレーションのネットワークデータ作成における発生点位置を設定するため駐車場分布調査を実施 ・上記交通量の内訳と照合を図りつつ OD 表を作成するために、鎌倉地域内の自動車交通量調査を実施 ・現況の信号処理状況を再現するために信号現示調査を実施																																																														
（仮称）鎌倉ロードプライシングを実施した場合の行動変化	・鎌倉地域に流入する自動車に課金した場合の行動変化の意向等を確認するため、アンケート調査を実施 ・アンケートでは仮定の複数の課金額を提示し、課金額に対する行動の変化から効果的な課金額の検討や買物客への影響を検証 ・平均駐車時間や料金等の基礎データを収集し、行動が変化した場合に駐車場に与える影響を検証するため、駐車場利用実態調査を実施																																																														
ETC の設置状況の把握	・ ETC の設置状況を検証するために、アンケート調査を実施																																																														
ロ)休日の鎌倉地域の駐車場の収容台数の把握	・ 休日の駐車場の収容台数を把握するために、鎌倉地域内全ての駐車場を対象とした駐車場分布調査を実施 ・ 駐車需給バランスを検証するために、駐車場利用実態調査を実施																																																														
ハ)（仮称）古都鎌倉 交通市民憲章（案）の考え方に対する意向把握	・ 「（仮称）古都鎌倉 交通市民憲章（案）」の考え方を広く市民に知らせるとともに、市民の考え方を確認するためにアンケート調査（市民）を実施																																																														

3. 調査内容

①実態調査

調査項目		調査対象	調査時間	調査方法
(イ)自動車交通量調査		主要な交差点、断面 約 35 箇所（次頁参照）	平成 28 年 9 月 17 日(土) 7 時～19 時（12 時間）	道路上で調査員が車種別に交通量をカウントする。 （大型乗用車、大型貨物車、普通貨物車、普通自動車〔一般車、タクシー〕、二輪車〔バイク〕）
(ロ)信号 現示調査	信号交差点	約 45 箇所 （次頁参照）	〃	押しボタン信号のみで歩行者の信号が変わる信号機を除く一般的な信号機を対象に、調査員が調査開始時間、信号現示パターンを 2 時間に 1 回程度記録する。
	主要な踏切	7 箇所（次頁参照）	〃	鉄道のピーク 1 時間を対象に遮断開始時間と終了時間を記録する。
(ハ)駐車場分布調査		鎌倉地域の車庫を除く 全ての駐車場	－	鎌倉地域内の全ての駐車場を対象に、調査員が公道から確認できる範囲で駐車場の位置、収容台数、構造、料金を調査する。大型バスの駐車スペースがある場合は、一般車と大型車の収容台数を分けて記録する。
(ニ)駐車場利用実態調査		主要な 10 箇所 （4 頁案参照）	同上	駐車場の出入口でナンバープレートを読み取り駐車時間等を記録する。 駐車場待ちが発生した場合には、その発生時間とナンバープレートを読み取り記録する。

②アンケート調査

調査項目		調査対象	調査期間	調査方法	アンケートに同封する資料
鎌倉市民アンケート調査	(イ)居住者 ※アンケート番号 A	鎌倉地域 1,500 人 その他 1,500 人 計 3,000 人	平成 28 年 9 月中	アンケートを郵送で配布・回収	・お願い文 ・資料 1：鎌倉地域区分・道路案内図 ・資料 2：行動調査票(追加分) ・資料 3：鎌倉交通 市民憲章(案)
	(ロ)事業所	鎌倉地域 1,500 箇所 その他 1,500 箇所 計 3,000 箇所	平成 28 年 9 月中	アンケートを郵送で配布・回収	〃
来訪者アンケート調査	(イ)自動車利用者 ※アンケート番号 C	20 箇所の駐車場 (4 頁参照)	実態調査に合わせ 平成 28 年 9 月 17 日(土)	調査員が利用者に直接配布し、郵送で回収	・お願い文 ・資料 1：鎌倉地域区分・道路案内図 ・資料 2：行動調査票(追加分)
	(ロ)鉄道利用者	鎌倉駅 2,000 人 北鎌倉駅 1,000 人 長谷駅 1,000 人 計 4,000 人	実態調査に合わせ 平成 28 年 9 月 17 日(土)	〃	〃
買物客アンケート		約 500 人	平成 28 年 9 月中	各店舗に依頼し、お客にアンケートを配布してもらい郵送で回収	〃
タクシー運行に関するアンケート調査		鎌倉地域のタクシー事業者	平成 28 年 9 月中	アンケートを配布・回収	〃
宅配車両運行に関するアンケート調査		鎌倉地域の貨物事業社	平成 28 年 9 月中	アンケートを配布・回収	〃
来訪営業車に関するアンケート調査		鎌倉地域の事業所に 来訪する車両	平成 28 年 9 月中	事業所の調査対象者に依頼して、来訪営業車にアンケートを配布・郵送で回収	〃

図 交通量調査案内図

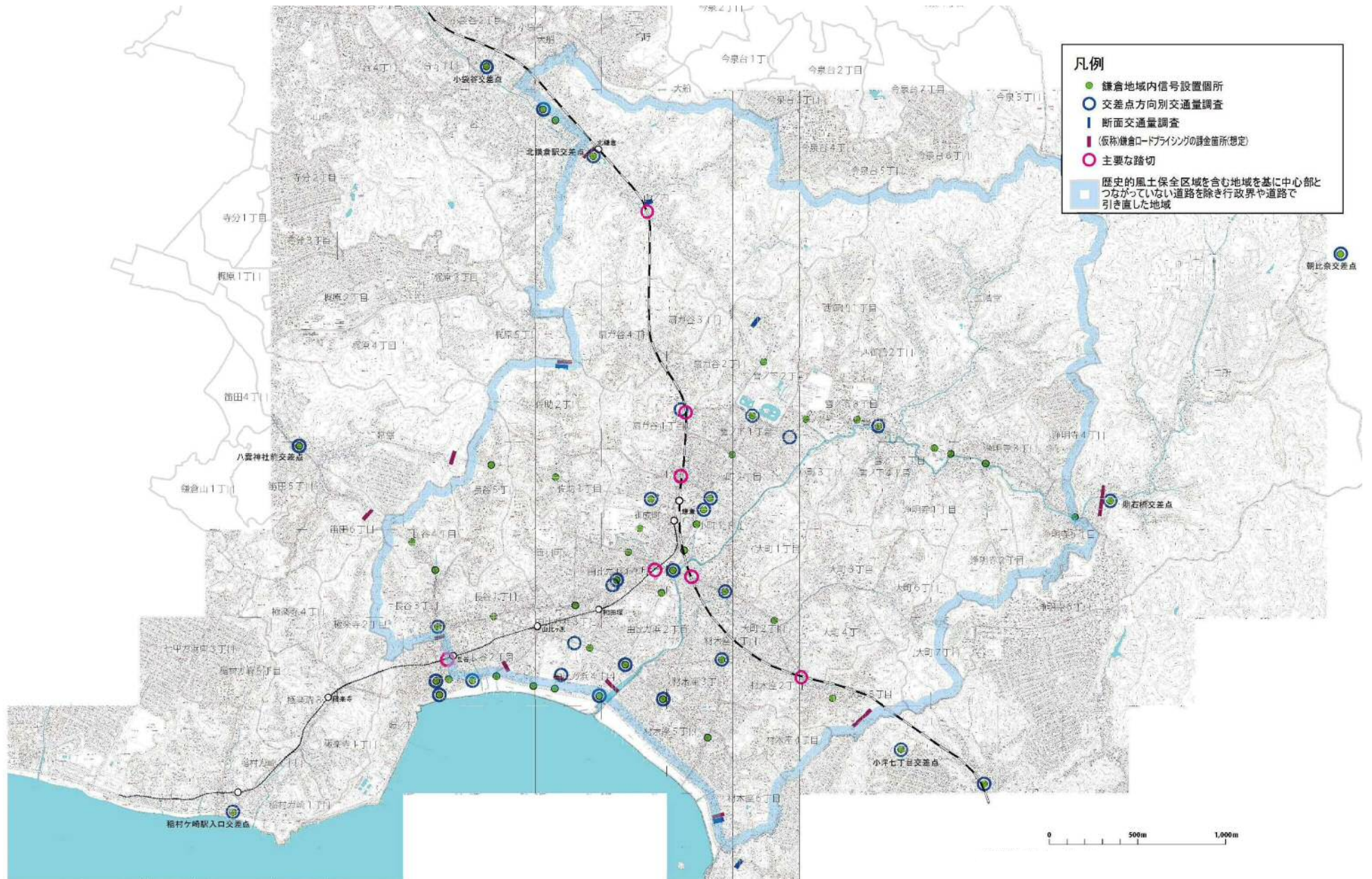
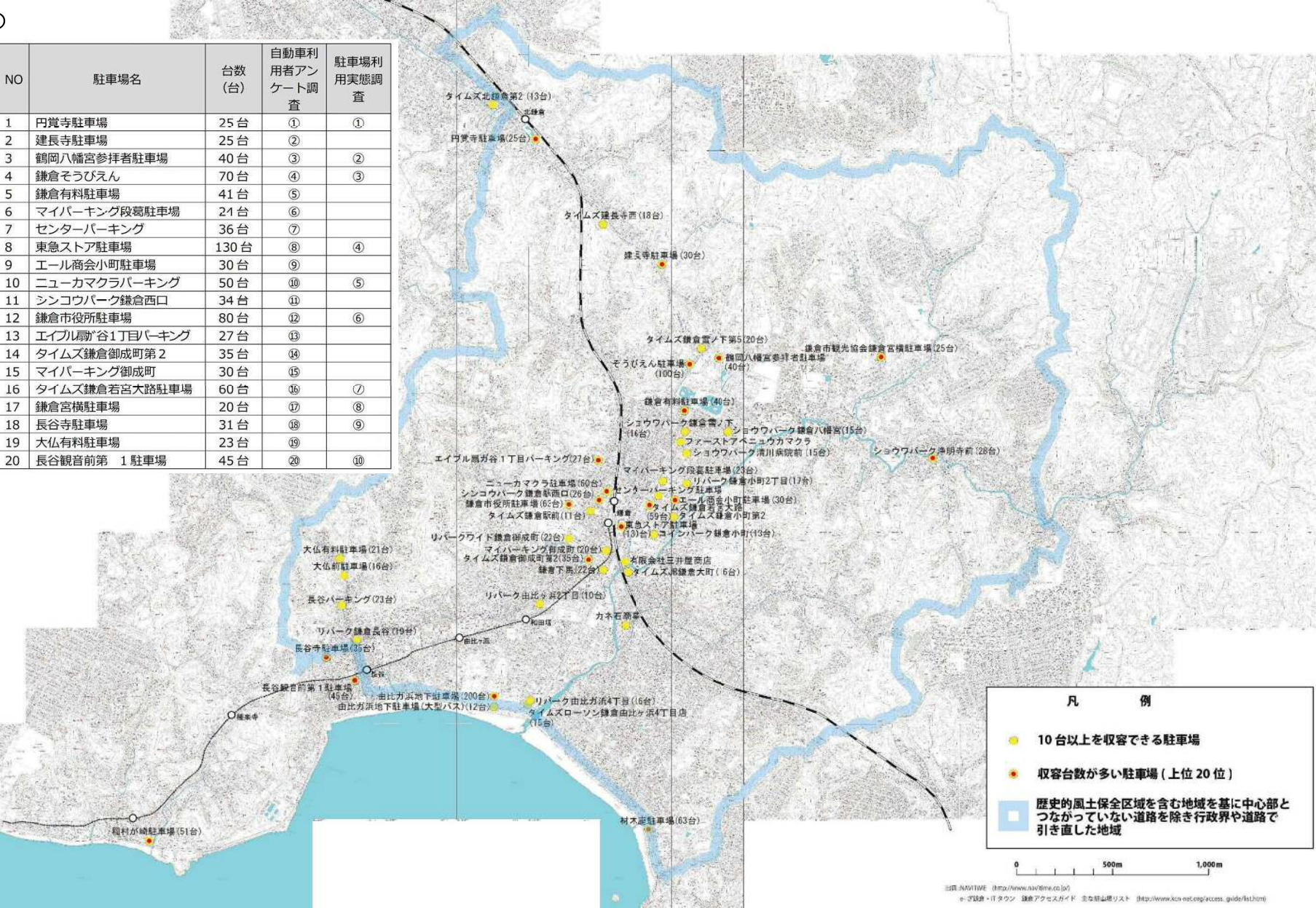


図 主要な駐車場の分布状況（主に収容台数が 10 台以上）

調査箇所（案）

地域	NO	駐車場名	台数 (台)	自動車利 用者アン ケート調 査	駐車場利 用実態調 査
北鎌倉駅周辺	1	円覚寺駐車場	25 台	①	①
	2	建長寺駐車場	25 台	②	
鶴岡八幡宮周辺	3	鶴岡八幡宮参拝者駐車場	40 台	③	②
	4	鎌倉そうびえん	70 台	④	③
鎌倉駅周辺	5	鎌倉有料駐車場	41 台	⑤	
	6	マイパーキング段葛駐車場	24 台	⑥	
	7	センターパーキング	36 台	⑦	
	8	東急ストア駐車場	130 台	⑧	④
	9	エール商会小町駐車場	30 台	⑨	
	10	ニューカマクラパーキング	50 台	⑩	⑤
	11	シンコウパーク鎌倉西口	34 台	⑪	
	12	鎌倉市役所駐車場	80 台	⑫	⑥
	13	エイブル [®] 谷1丁目パーキング	27 台	⑬	
	14	タイムズ鎌倉御成町第2	35 台	⑭	
鎌倉宮周辺 長谷・大仏周辺	15	マイパーキング御成町	30 台	⑮	
	16	タイムズ鎌倉若宮大路駐車場	60 台	⑯	⑦
	17	鎌倉宮横駐車場	20 台	⑰	⑧
	18	長谷寺駐車場	31 台	⑱	⑨
	19	大仏有料駐車場	23 台	⑲	
	20	長谷観音前第 1 駐車場	45 台	⑳	⑩



資料 1

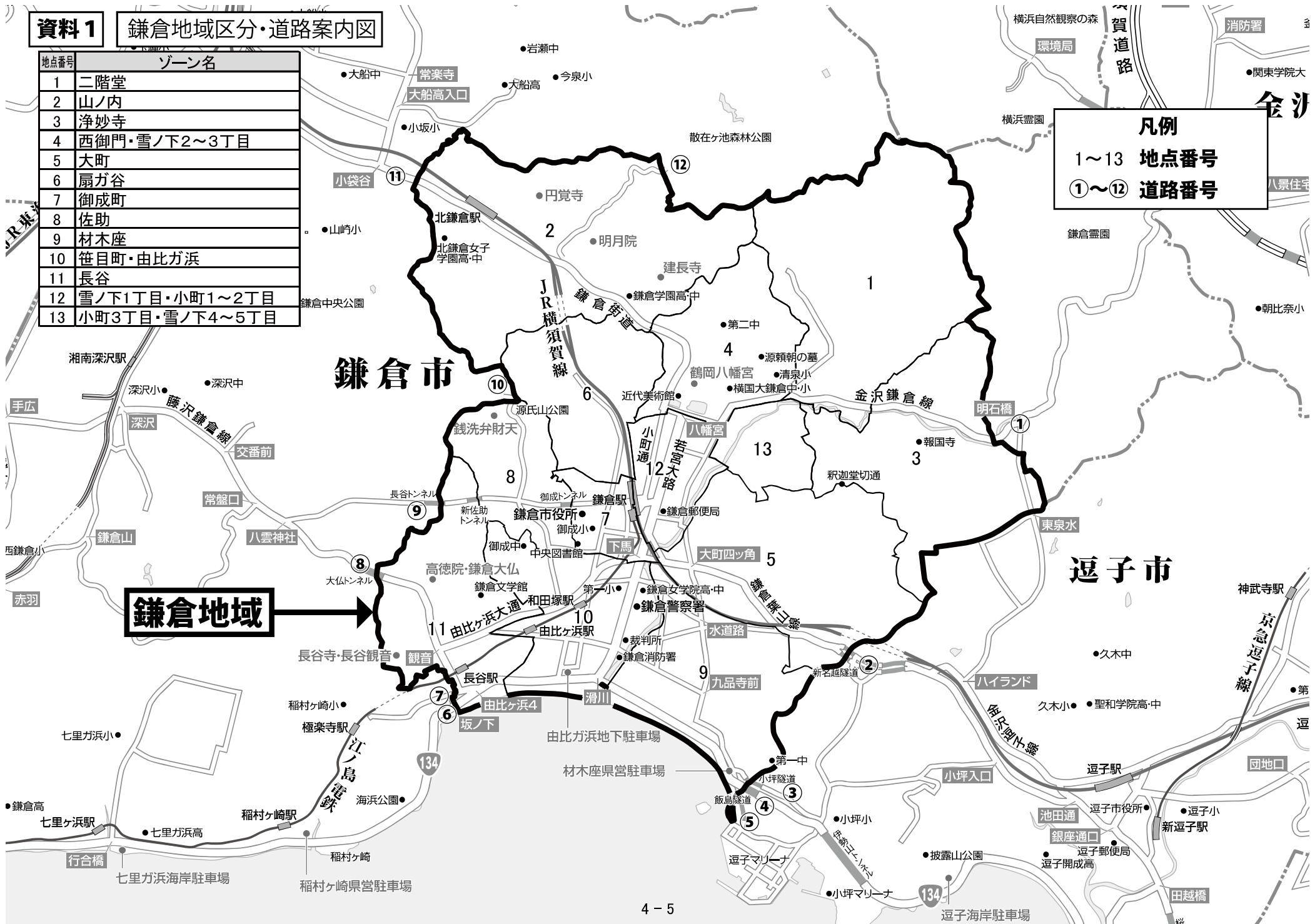
鎌倉地域区分・道路案内図

地点番号	ゾーン名
1	二階堂
2	山ノ内
3	浄妙寺
4	西御門・雪ノ下2～3丁目
5	大町
6	扇ガ谷
7	御成町
8	佐助
9	材木座
10	笹目町・由比ガ浜
11	長谷
12	雪ノ下1丁目・小町1～2丁目
13	小町3丁目・雪ノ下4～5丁目

凡例

1～13 地点番号

①～⑫ 道路番号



第 24 回鎌倉市交通計画検討委員会専門部会（平成 28 年 7 月 28 日（木）） での実態調査・アンケート調査に関する主な意見

【実態調査に関して】

項目	意見
調査項目	・ 交通実態調査に関しては、今年度取組む予定の歩行者尊重道路に関しても、議論の基になるデータが取得できると良い。

【アンケートに関して】

項目	意見										
言葉の定義	・ 「鎌倉市では、鎌倉地域に流入する来訪車両等への課金により」という文章があるが、「来訪車両」という言葉では、市民は対象外だという前提で回答してしまうので、単に「自動車」の方が良いのではないか ・ アンケート上の鎌倉地域の定義は、行政区分上の鎌倉地域の定義と異なるので、本計画における鎌倉地域ということを明確にするか、単なる「地域」等別の表現でも良いのではないか。										
調査方法	・ 来訪者のアンケートは紙ベースで行う以外に、インターネット等で行えないか。 ・ 平成 8 年に行った既往アンケートの回収率はどの程度で、それを踏まえて今回改善している点は何かあるのか。 ・ 調査箇所となる駐車場の選び方は収容台数の多さだけでなく、駐車場と観光スポットの配置等の空間条件も含めて選定を行う方が良い。										
質問	<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">(仮称) 鎌倉ロードプライシング</td><td>・ ロードプライシングを知っているかの質問を加えて欲しい。</td></tr> <tr> <td>・ ロードプライシングに賛成か反対かの質問を加えて欲しい。</td></tr> <tr> <td>・ 具体的な計画が決まっていないので、是非を問うような質問は早急ではないか。</td></tr> <tr> <td>・ 鎌倉市で考えているロードプライシングのメリットとデメリットを説明する資料が必要である。</td></tr> <tr> <td>・ 今の時点でロードプライシングの課金対象エリアを想定した鎌倉地域というエリアを詳細に示す必要はないのではないかと。</td></tr> <tr> <td>・ ロードプライシングに反対の人もあるので、今の段階でロードプライシングを行う前提のような質問をしても大丈夫か心配である。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td><td>・ ロードプライシングを実現するために、本アンケート調査で何を明らかにするのか、アンケート設問の意図がわかりにくい。市民への認知度を高めていくと同時に、具体的な課金額の設定をどう考えるかなどが重要になる。</td></tr> <tr> <td> ・ 今回のアンケート調査によって、ETC の普及状況を把握するというのは難しく、あくまでも参考値ではないか。 ・ 来訪者アンケートで、パークアンドライドや鎌倉フリー環境手形などの市の施策を知っているかいないかだけでなく、意欲的に参加したいか、あるいは参加しないのであれば、どのようなものだと良いかなど、もう少し踏み込んで聞けたら良い。 </td></tr> </table>	(仮称) 鎌倉ロードプライシング	・ ロードプライシングを知っているかの質問を加えて欲しい。	・ ロードプライシングに賛成か反対かの質問を加えて欲しい。	・ 具体的な計画が決まっていないので、是非を問うような質問は早急ではないか。	・ 鎌倉市で考えているロードプライシングのメリットとデメリットを説明する資料が必要である。	・ 今の時点でロードプライシングの課金対象エリアを想定した鎌倉地域というエリアを詳細に示す必要はないのではないかと。	・ ロードプライシングに反対の人もあるので、今の段階でロードプライシングを行う前提のような質問をしても大丈夫か心配である。	その他	・ ロードプライシングを実現するために、本アンケート調査で何を明らかにするのか、アンケート設問の意図がわかりにくい。市民への認知度を高めていくと同時に、具体的な課金額の設定をどう考えるかなどが重要になる。	・ 今回のアンケート調査によって、ETC の普及状況を把握するというのは難しく、あくまでも参考値ではないか。 ・ 来訪者アンケートで、パークアンドライドや鎌倉フリー環境手形などの市の施策を知っているかいないかだけでなく、意欲的に参加したいか、あるいは参加しないのであれば、どのようなものだと良いかなど、もう少し踏み込んで聞けたら良い。
(仮称) 鎌倉ロードプライシング	・ ロードプライシングを知っているかの質問を加えて欲しい。										
	・ ロードプライシングに賛成か反対かの質問を加えて欲しい。										
	・ 具体的な計画が決まっていないので、是非を問うような質問は早急ではないか。										
	・ 鎌倉市で考えているロードプライシングのメリットとデメリットを説明する資料が必要である。										
	・ 今の時点でロードプライシングの課金対象エリアを想定した鎌倉地域というエリアを詳細に示す必要はないのではないかと。										
	・ ロードプライシングに反対の人もあるので、今の段階でロードプライシングを行う前提のような質問をしても大丈夫か心配である。										
その他	・ ロードプライシングを実現するために、本アンケート調査で何を明らかにするのか、アンケート設問の意図がわかりにくい。市民への認知度を高めていくと同時に、具体的な課金額の設定をどう考えるかなどが重要になる。										
	・ 今回のアンケート調査によって、ETC の普及状況を把握するというのは難しく、あくまでも参考値ではないか。 ・ 来訪者アンケートで、パークアンドライドや鎌倉フリー環境手形などの市の施策を知っているかいないかだけでなく、意欲的に参加したいか、あるいは参加しないのであれば、どのようなものだと良いかなど、もう少し踏み込んで聞けたら良い。										

鎌倉地域の道路交通問題に関する調査(鎌倉地域の居住者)

A

1. ○月○日(日)に鎌倉地域(別紙資料1に示した地域)で運転された全ての動きについてお聞きます。

Q1. あなたのお住まいはどちらですか？

□字 □丁目

↓(字名は下記から選択、丁目はある場合のみ記入)

1. 浄明寺 2. 二階堂 3. 西御門 4. 雪ノ下 5. 扇ガ谷 6. 小町 7. 大町 8. 材木座 9. 由比ガ浜 10. 御成町
11. 笹目町 12. 佐助 15. 長谷

Q2. あなたのお宅には自動車は何台ありますか？

1. ある()台 2. なし(⇒Q4に進んでください)

Q3. ○月○日に自動車を使いましたか？

1. 使った()台 2. 使っていない(⇒Q4に進んでください)

使った全ての車の鎌倉地域での動き(家を出て、帰ってくるまで)をお答えください。

鎌倉地域の外での運転は記入の必要はありません。

・運転回数の1回は、運転者に係わらず、駐車していた自動車に乗り込んだ地点を出発地、次に車を駐車させた地点を到着地とする運転とし、途中の一時駐車(コンビニ等への立寄り等)などは数えません。但し、家から買物目的でコンビニに買物に行った場合は1回となります。

〔例えば、家から商店まで買物に出かけ(1回)、帰宅(2回)した場合は2回となります。〕

・運転回数「1」の出発地点番号は、同封した資料1(鎌倉地域区分・道路案内図)に従い、お住まいのある地点番号(1~13)を記入してください。

・鎌倉地域の外に出た場合は、資料1の出口の道路番号(①~⑫)を記入し、通過した概ねの時間を到着時間としてください。

・2台目以降(最大3台まで)は別紙の資料2に記入してください。

同封した資料1を参照してください

1台目

運転回数	出発地点番号	出発時間(24時間表示)	到着地点番号	到着時間(24時間表示)	目的(該当する全てのものをお選びください)
1		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、5. 通勤・通学、6. 仕事、7. 送迎、8. その他(具体的)
2		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、5. 通勤・通学、6. 仕事、7. 送迎、7. その他(具体的)
3		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、5. 通勤・通学、6. 仕事、7. 送迎、8. その他(具体的)
4		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、5. 通勤・通学、6. 仕事、7. 送迎、8. その他(具体的)
5		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、5. 通勤・通学、6. 仕事、7. 送迎、8. その他(具体的)
6		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、5. 通勤・通学、6. 仕事、7. 送迎、8. その他(具体的)

2. 休日(土日祝日)に鎌倉地域の外の地域に行く交通手段についてお聞きます。

Q4. 鎌倉地域の外の地域(例えば、大船や逗子市等)に行く頻度を教えてください

1. ほぼ毎回 2. 毎週1回程度 3. 2週間に1回程度 4. 1ヶ月に1回程度
5. 1年間に4~5回程度 6. 1年間に1回程度 7. その他()
8. ほとんど行かない(⇒Q9に進んでください)

Q5. Q4で「1~7」を選んだ方にお聞きます。鎌倉地域の外の地域に行く時の交通手段と、その概ねの利用割合をご記入ください。

交通手段	利用割合
1. 自動車	概ね()%
2. バイク	概ね()%
3. 鉄道	概ね()%
4. バス	概ね()%
5. 自転車	概ね()%
6. 徒歩	概ね()%
7. その他(具体的に:)	概ね()%
合計	(100)%

Q6. Q5で「1」の自動車を利用すると回答した方にお聞きます。車を利用する理由は何ですか？該当する全てに○を付けてください

1. 自宅から目的地まで鉄道やバスを使うよりも、到着時間が早い
2. 幼児、高齢者等の同乗者があり、鉄道やバスでの移動は疲れるため
3. 他の交通手段でも利用できるが同乗者を含めると車の方が“割安”に感じるため
4. 他にも立ち寄るところがあり車以外では不便なため
5. 買物等で荷物があるため
6. その他()

Q7. Q5で「3」の鉄道を利用すると回答した方にお聞きます。鉄道を利用する理由は何ですか？該当する全てに○を付けてください

1. 自動車を使えないため(保有していない、免許を持っていない等)
2. 鉄道の利用が最も便利のため 3. 遅れが少なく所要時間が安定しているため
4. 料金が安い 5. 交通渋滞の発生が予測されるため 6. 飲酒を伴うため
7. その他()

Q8. Q5で「4」のバスを利用すると回答した方にお聞きます。バスを利用する理由は何ですか？該当する全てに○を付けてください

1. 自動車を使えないため(保有していない、免許を持っていない等) 2. バスの利用が最も便利のため
3. 料金が安い 4. 飲酒を伴うため 5. その他()

3. 休日の鎌倉地域の交通渋滞についてお聞きます。

Q9. 休日の鎌倉地域の交通渋滞についてどのようにお考えですか？あなたのお考えに最も近いもの1つをお選びください。

1. 深刻であり、対策が必要 2. やや深刻であり、対策が必要
3. やや深刻であるが、許容できる程度 4. 深刻ではない

4. (仮称)「古都鎌倉 交通市民憲章」(案)についてお聞きます。

鎌倉地域では、特に休日の交通渋滞が著しく、市民生活に支障をきたしている状況です。その解決に向けては、自動車の利用を抑制し、徒歩と公共交通を中心とした交通環境をめざすことが必要です。同封した資料③(仮称)「古都鎌倉 交通市民憲章」は、市民や行政が進める取組みの精神を来訪者等に広くアピールするものであり、制定に向け検討を進めています。

Q10. (仮称)「古都鎌倉 交通市民憲章」(案)は、市民自らが過度な自動車利用を抑えることを表明し、来訪者にも理解を求めることを基本にしています。この考え方に賛成ですか。

1. はい 2. いいえ
3. 賛成はできるが附帯する条件による(具体的に:)

Q11. 自動車を運転する方にお聞きます。鎌倉地域で自動車の乗入れや走行を制限するとした場合、あなたはどのような協力ができますか。あなたのお考えに最も近いもの1つお選びください。

1. できる限り外出を抑える 2. できる限り自動車の運転を抑える
3. 混雑する地区を迂回する 4. 自動車の運転は従来通りせざるを得ない
5. その他(具体的に:)

5. 休日の自動車利用の抑制策についてお聞きます。

鎌倉市では、鎌倉地域に流入する来訪車両等への課金により、公共交通への転換を促し自動車利用の抑制を図る施策((仮称)鎌倉ロードプライシング)の実現化に向け検討を進めています。

Q12. (仮称)鎌倉ロードプライシングは、**すべての土曜日、日祝日(1年間に120日程度)の午前8時～午後4時**を基本に、鎌倉地域に流入する来訪車両等への課金を検討していますが、あなたのお考えに最も近いもの1つお選びください。

1. 原則的に全ての車両を対象とすべきであり、市民も対象とすることはやむを得ないと思う
2. 条件によっては、市民も対象としても良いと思う
3. 考え方は理解できるが、やはり市民は対象外とすべきだと思う
4. わからない 5. その他()

Q13. 「Q12」で「2. 条件によっては、市民も対象としても良いと思う」とお答えになった方にお聞きます。どのような条件が大切だと考えますか。あてはまるもの全てをお選びください。

1. 実施日がもう少し限定されていること(具体的に:)
2. 料金が安いこと 3. 料金徴収がスムーズであること
4. 代替の公共交通のサービスが向上していること
5. その他()

Q14. (仮称)鎌倉ロードプライシングの導入に向け、来訪者の理解を高めるために、市民の過度な自動車利用を抑えることを促す方法として、来訪者の1割程度の料金(例えば100円)を徴収する考え方もあります。あなたのお考えに最も近いもの1つお選びください。

1. 考え方に賛同して、自動車の利用を抑える
2. 考え方は賛同できるが、料金を払って自動車を利用する
(理由:)
3. 考え方は賛同できない(理由:)
4. わからない 5. その他()

Q15. 自動車から徴収した収入は、様々な使い方があります。あなたはどのようにお考えになりますか。あてはまるもの全てをお選びください。

1. 歩きやすい道路を整備する 2. 公共交通を利用しやすいように、公共交通の運営に組み込む
3. その他()

Q16. 福岡県太宰府市では、歴史的文化遺産及び観光資源等の保全と整備を図るため、駐車場利用者に対し、駐車料金とは別に、100円の税金を徴収しています。こうした取組みを自動車利用の抑制策として、鎌倉地域で検討した場合、あなたのお考え最も近いものを1つお選びください。

1. 駐車料にプラス100円支払うのなら自動車の利用を抑える
2. 駐車料金プラス100円支払うのなら、鎌倉地域以外に行くかもしれない
3. 駐車料金プラス100円を払って自動車を利用する
4. わからない 5. その他()

→ 料金が500円の場合はどうですか?

1. 自動車の利用を抑える 2. 鎌倉地域以外に行くかもしれない 3. 自動車を利用する

Q17. 休日の鎌倉地域の交通渋滞が解消した場合、自動車の利用回数は増えますか?

1. 増えるかもしれない 2. 変わらない

Q18. 休日の鎌倉地域の交通渋滞が解消した場合、バスの利用回数は増えますか?

1. 増えるかもしれない 2. 変わらない

5. あなた自身についてお聞きます。

Q19. あなたの性別は?

1. 男性 2. 女性

Q20. あなたの年齢は?

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

Q21. あなたの職業は?

1. 農林水産業 2. 自営業(自宅勤務) 3. 自営業(通勤あり) 4. 会社員 5. 公務員
6. 自由業 7. 専業主婦 8. 兼業主婦(パート含む) 9. 学生
10. 無職(アルバイト含む)
11. その他(具体的に:)

Q22. 運転免許及びマイカーは保有されていますか?

1. 免許、マイカーとも保有している 2. 免許はあるがマイカーは保有していない
3. 免許、マイカーとも保有していない 4. その他()

Q23. 普段お使いになる車のETC(料金支払い自動システム)の設置状況についてお伺いします

①車載器は付いていますか?	1. 付いている 2. 付いていない
↓	
②ETCカードの利用・保有状況	1. 車に乗る時は常時持っている 2. 高速道路等を利用する時に持っている 3. 持っていない 4. その他()

Q24. あなたの自動車の使い方(運転、同乗を含む)は、次のどれに当てはまりますか?

1. ほぼ毎日使う 2. 週末などによく使う 3. 普段はあまり使わない

Q25. ご自宅から最寄りのバス停あるいは駅まで、徒歩何分ぐらいですか?

- ①最寄りのバス停 ()分ぐらい
②最寄りの駅 ()駅まで ()分ぐらい

Q26. 鎌倉地域の交通渋滞対策の取組み方について、ご意見をお聞かせください。

--

鎌倉地域の来訪者アンケート調査(自動車)

C

1. 本日(〇月〇日)、鎌倉地域(別紙資料1に示した地域)で運転された全ての動きについてお聞きます。

Q1. 鎌倉地域に行き帰りに高速道路等を使用しましたか。

1. 使った ↓ 利用した高速道路全てに○を付けてください
(横浜横須賀道路・横浜新道・首都高湾岸線・首都圏中央連絡自動車道・新湘南バイパス・その他)
2. 使っていない

Q2. 本日運転している車のETC(料金支払い自動システム)の設置状況についてお伺いします

①車載器は付いていますか?	1. 付いている 2. 付いていない
②ETCカードの保有状況	1. 持っている 2. 持っていない

Q3. 鎌倉地域にどの道路を使って来て(入口)、どの道路から帰りましたか(出口)。同封した資料1(鎌倉地域区分・道路案内図)を参照の上、道路番号をお選びください。

【入口】: ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
【出口】: ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

Q4. 鎌倉地域(資料1参照)で運転された全ての動きをお答えください。鎌倉地域の外での運転は記入の必要はありません。

- ・運転回数の1回は駐車から次の駐車までとし、途中の一時駐車(コンビニ等への立寄り等)などは数えません
- ・外から鎌倉地域へ入る場合は資料1の入口の道路番号(①~⑫)を記入し、通過した概ねの時間を出発時間としてください
- ・鎌倉地域の外に出た場合は資料1の出口の道路番号(①~⑫)を記入し、通過した概ねの時間を到着時間としてください

同封した資料1を参照してください

運転回数	出発地点 番号	出発時間 (24 時間表示)	到着地点 番号	到着時間 (24 時間表示)	目的 (該当する全てのものをお選びください)
1		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、 5. 通勤・通学、6. 仕事 7. その他(具体的に)
2		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、 5. 通勤・通学、6. 仕事 7. その他(具体的に)
3		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、 5. 通勤・通学、6. 仕事 7. その他(具体的に)
4		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、 5. 通勤・通学、6. 仕事 7. その他(具体的に)
5		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、 5. 通勤・通学、6. 仕事 7. その他(具体的に)
6		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、 5. 通勤・通学、6. 仕事 7. その他(具体的に)
7		:		:	1. 観光・参拝、2. 買物・私用、3. 飲食、4. 法事、 5. 通勤・通学、6. 仕事 7. その他(具体的に)

2. 休日(土日祝日)の鎌倉地域に来る際の交通手段についてお聞きます。

Q5. 鎌倉地域を訪れる頻度をお答えください

1. 1ヶ月に1回程度 2. 1年間に4~5回程度 3. 1年間に1回程度
4. その他()

Q6. 鎌倉地域には、いつも自動車で来ますか?

1. いつも自動車で来る 2. 自動車以外の交通手段(鉄道・バス等)で来ることもある

Q7. Q6「2」を選んだ方にお聞きます。鎌倉地域に来る交通手段と、その概ねの利用割合をご記入ください。

交通手段	利用割合
1. 自動車	概ね() %
2. 鎌倉地域に入る手前の駐車場に車を止め、鉄道やバスに乗り換えて鎌倉地域に来るパークアンドライドを利用	概ね() %
3. 鉄道	概ね() %
4. バス	概ね() %
5. その他(具体的に:)	概ね() %
合計	(100) %

Q8. 自動車を利用する理由は何ですか?該当する全てに○を付けてください

1. 自宅から鎌倉地域まで鉄道やバスを使うよりも、到着時間が早い
2. 幼児、高齢者等の同乗者がおり、鉄道やバスでの移動は疲れるため
3. 他の交通手段でも利用できるが同乗者を含めると車の方が“割安”に感じるため
4. 他にも立ち寄るところがあり車以外では不便なため(具体的な場所)
5. その他()

Q9. Q5で「1」の自動車を利用すると回答した方にお聞きます。次のような取り組みを知っていますか?①~②全てにお答えください。

①パークアンドライド	由比ガ浜、稲村カ崎、七里ガ浜、江の島の4箇所の駐車場に実施。駐車場に車を止め、電車やバスなどの公共交通に乗り換え鎌倉地域へ移動してもらうシステム。駐車料金とフリーきっぷ(2枚)がセットで、お得な料金で利用することができます。	1. 知っている 2. 知らない
②鎌倉フリー環境手形	鎌倉地域内の主な観光スポットへ向かう5つのバス路線と電車の特定区間が一日自由に乗り降りできるフリー切符。特典として協賛寺社の拝観料割引や縁起物の進呈等がある。	1. 知っている 2. 知らない

Q10. Q7で「2」のパークアンドライドを利用すると回答した方にお聞きます。パークアンドライドはどのような時に利用しますか?該当する全てに○を付けてください

1. 公共交通の便利な施設や地区を回る時
2. 鎌倉地域の交通渋滞の発生が予測される時や駐車場が混んでいると予測される時
3. その他()

Q11. Q7で「3」の鉄道を利用すると回答した方にお聞きます。鉄道はどのような時に利用しますか?該当する全てに○を付けてください

1. 交通渋滞の発生が予測される時 2. 比較的、公共交通の便利な施設や地区を回る時
3. ハイキング等の歩きを主体にする時 4. 飲酒を伴う時
5. その他()

3. 休日の鎌倉地域の交通渋滞についてお聞きます。

Q12. 休日の鎌倉の交通渋滞についてどのようにお考えですか？あなたのお考えに最も近いもの1つお選びください。

1. 避けるための対策を取りようがないので何とかしてほしい
2. 裏道などを利用することにより、ある程度避けることができる
3. ひどい時間帯もあるが、それ以外はあまり気にならない
4. 我慢できる程度である
5. ほとんど気にならない

4. 休日の鎌倉地域の交通渋滞の解消に向けた取組みについてお聞きます。

鎌倉地域では、特に休日の交通渋滞が著しく、市民生活に支障をきたしている状況です。その対策として、鎌倉地域に流入する来訪車両等への課金により、公共交通への転換を促し自動車利用の抑制を図る施策（仮称）鎌倉ロードプライシング）の検討を進めています。

Q13. 休日に鎌倉地域に入る自動車に対して料金を徴収し、自動車利用の抑制を促すことに賛成できますか。あなたのお考えに最も近いもの1つお選びください。

1. 効果があり、渋滞をなくせるのなら賛成できる
2. 渋滞緩和の効果と代替移動手段（公共交通）での移動のしやすさの両方が満足されるならば賛成できる
3. 賛成できない

Q14. 料金を払うことにより交通渋滞のない道路を走行できるとした場合、徴収する金額により、あなたの行動はどのように変化しますか。①～③全てにお答えください。

①鎌倉地域へ入るごとに徴収される料金が500円の場合	1. 毎回、料金を払って自動車で来る 2. 来訪回数の半分ぐらいは、料金を払ってでも自動車で来る 3. 自動車で来ることをやめる ↓（鎌倉地域に自動車で来ない場合、該当するもの全てについて○を付けてください） 7. 電車やバスで来る 4. 鎌倉地域の周辺にある駐車場まで車で来て、江ノ電やバスに乗り換えて来る（パークアンドライドを利用する） 5. 鎌倉地域に来ることをあきらめて他の地域に行く
※料金は車1台当たりの金額	
②鎌倉地域へ入るごとに徴収される料金が1000円の場合	1. 毎回、料金を払って自動車で来る 2. 来訪回数の半分ぐらいは、料金を払ってでも自動車で来る 3. 自動車で来ることをやめる ↓（鎌倉地域に自動車で来ない場合、該当するもの全てについて○を付けてください） 7. 電車やバスで来る 4. 鎌倉地域の周辺にある駐車場まで車で来て、江ノ電やバスに乗り換えて来る（パークアンドライドを利用する） 5. 鎌倉地域に来ることをあきらめて他の地域に行く
※料金は車1台当たりの金額	
③鎌倉地域へ入るごとに徴収される料金が2000円の場合	1. 毎回、料金を払って自動車で来る 2. 来訪回数の半分ぐらいは、料金を払ってでも自動車で来る 3. 自動車で来ることをやめる ↓（鎌倉地域に自動車で来ない場合、該当するもの全てについて○を付けてください） 7. 電車やバスで来る 4. 鎌倉地域の周辺にある駐車場まで車で来て、江ノ電やバスに乗り換えて来る（パークアンドライドを利用する） 5. 鎌倉地域に来ることをあきらめて他の地域に行く
※料金は車1台当たりの金額	

Q15. 鎌倉地域にふさわしい交通環境（静かなまち、歩きやすいまちなど）を実現するために、いくらの料金を課すことが望ましいと思いますか。

1回の流入に対して（ ）円ぐらいの料金を課すことが妥当だと思う

Q16. 福岡県太宰府市では、歴史的文化遺産及び観光資源等の保全と整備を図るため、駐車場利用者に対し、駐車料金とは別に、100円の税金を徴収しています。こうした取組みを自動車利用の抑制策として、鎌倉地域で検討した場合、あなたのお考え最も近いものを1つお選びください。

1. 駐車料にプラス100円支払うのなら自動車の利用を控える
2. 駐車料金プラス100円支払うのなら、鎌倉地域以外に行くかもしれない
3. 駐車料金プラス100円を払って自動車を利用する
4. わからない
5. その他（ ）

→ 料金が500円の場合はどうですか？

1. 自動車の利用を控える
2. 鎌倉地域以外に行くかもしれない
3. 自動車を利用する

5. あなた自身についてお聞きます。

Q17. あなたのお住まいはどちらですか？

1. 鎌倉地域（資料1に示した鎌倉地域）
2. 鎌倉地域以外の鎌倉市
3. 藤沢市
4. 逗子市
5. 横浜市（ ）区
6. 藤沢市、逗子市、横浜市以外の神奈川県（具体的に ）
7. 東京都
8. 埼玉県
9. 千葉県
10. その他（具体的に ）

Q18. あなたを含めて何人乗車していますか？

家族・親戚 15歳以下（ ）人 16～64歳（ ）人 65歳以上（ ）人
上記以外 15歳以下（ ）人 16～64歳（ ）人 65歳以上（ ）人

Q19. あなたや同乗者を含め、鎌倉地域で立ち寄ったお店や寺社などは何箇所、使った概ねの金額はおいくらでしたか？

①飲食店（ ）箇所、概ねの飲食額（ ）円
②物品販売店（ ）箇所、概ねの買物金額（ ）円
③寺社 など（ ）箇所、概ねの拝観料（ ）円

Q20. 鎌倉地域の交通渋滞対策の取組み方について、ご意見をお聞かせください。

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。